

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年5月22日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104969		
法人名	医療法人 順風会		
事業所名	グループホーム星岡		
所在地	松山市星岡二丁目8番24号 (電話) 089-914-8778		
管理者	藤本 弘子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年4月18日	評価確定日	平成20年5月22日

【情報提供票より】 (平成20年3月31日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年5月25日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	13人, 非常勤 2人, 常勤換算 13.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		
(3)利用者の概要 (平成20年3月31日現在)			
利用者人数	18名	男性 6名	女性 12名
要介護1	2名	要介護2	4名
要介護3	8名	要介護4	4名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 85歳	最低 66歳	最高 99歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>サービス担当会議に、ご家族も参加し、意見を出していただいている。ご本人の希望や職員の気付き等を採り入れ、介護計画を作成されている。                  利用者一人ひとりの望みや、これまでの暮らしのことを聴き取り、センター方式のアセスメントシートに記録し、思いや意向の把握に努めておられる。昨年末から「さんの日」という利用者の願いを叶える日を設け、ご本人と一緒に計画を立てて支援されている。                  職員は、利用者から礼儀作法や、畑仕事等を教えていただくことがある。又、利用者から「朝早くにえらいなあ」「2,3日顔見んかったが元気やったん」等とやさしく声をかけてもらうことで、心癒され、励まされることも多い。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し取り組まれた。センター方式を取り入れ、利用者個々の支援の充実を目指されている。又、家族会を開催し、ご家族との関係をさらに深めていけるよう取り組まれた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・自己評価は、職員個々に取り組み、さらに職員間で話し合いを重ねて作成された。職員は「現状に安住することなく、さらに、よりよいケアに取り組んでいきたい」と話しておられた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・運営推進会議時、事業所の取り組みや家族会の報告等もされている。活発な意見交換がなされ、町内会長の方や保育園の園長先生等から、外出支援や入園式への出席等、協力のお申し出をいただいている。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・定期的に「GH星岡新聞」をご家族に送付し、事業所の取り組みや利用者の日常の様子、食事の献立、職員の紹介等、写真をふんだんに掲載し、報告されている。ご家族は新聞を楽しみにされており、きちんとファイルしている方もおられる。遠方のご家族には、パソコンのメール等も利用し、近況報告をされる。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・奇数月の第三木曜日に、事業所で開かれる移動喫茶には、地域のボランティアの方やご家族も協力してくださっている。町内の夏祭りやバザー等には、利用者も参加されている。又、近隣の幼稚園や保育園との交流を継続されており、お花見を一緒にされる等、利用者は園児達と共に過ごす時間を楽しみにされている。小、中、高校生の介護体験や実習も受け入れておられる。</p>

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム星岡

(ユニット名) 花組

記入者(管理者)

氏名 藤本 弘子

評価完了日

平成 20年 3月 31日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>職員全員で意見を出し合い、さらに地域と交流していくことを目指すための理念を掲げている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所の理念に沿って、「地域との交流の中で家族的で話し合いのできる楽しい環境作り」を実現できるよう取り組んでおられる。</p>		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念は事務所、居間、玄関に掲示し、月例の職員会の初めに全員で唱和しつつ確認し、具体的なケアについても話し合い、意見の統一を図っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者は、日々の中で職員に理念の意識付けをされ、共有しながら、ケアを行えるよう取り組んでおられる。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>家族や地域の方々が来られたら、すぐに目につく玄関口に理念を掲示しており、運営推進会議や地域の方がボランティアで来てくださった時に具体的な取り組みについてお伝えしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) アイリバーサポート(川掃除)に職員が交替で参加し、時には入居者も危なくない程度に参加して頂いている。2ヶ月に1回移動喫茶にボランティアさんが5名くらいずつ参加して下さっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の防災訓練に職員が参加したり、地域の盆踊りには入居者と職員が積極的に参加し、敬老会には会場を提供し、対象者は参加している。町内サロンへの参加も検討している。 (外部評価) 奇数月の第三木曜日に、事業所で開かれる移動喫茶には、地域のボランティアの方やご家族も協力して下さっている。町内の夏祭りやパザー等には、利用者も参加されている。又、近隣の幼稚園や保育園との交流を継続されており、お花見と一緒にされる等、利用者は園児達と共に過ごす時間を楽しみにされている。小、中、高校生の介護体験や実習も受け入れておられる。		ゲートボール等にも参加できないか検討してみたい。  管理者は、積極的に公民館等の活動に協力をされており、今後も公民館でのお茶会等に、利用者と一緒に話しておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 介護予防の為、地域の方の健康チェックに併設事業所より定期的に出かけている。人材育成の貢献として実習生の受け入れは積極的に行っている。		
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全職員で行い、日頃のケアを振り返るきっかけとした。外部評価の結果は改善に向けての検討や実践につなげる為の努力をしている。 (外部評価) 自己評価は、職員個々に取り組み、さらに職員間で話し合いを重ねて作成された。職員は「現状に安住することなく、さらに、よりよいケアに取り組んでいきたい」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し取り組まれた。センター方式を採用し、利用者個々の支援の充実を目指されている。又、家族会を開催し、ご家族との関係をさらに深めていけるよう取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議がきっかけで開始した移動喫茶も2ヶ月に1回定例となり、ボランティアの方も毎回5名位参加してくださっている。サービスの実際については会議で報告し、ご意見を頂いたり、サービス向上につなげている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の取り組みや家族会の報告等もされている。活発な意見交換がなされ、町内会長の方や保育園の園長先生等から、外出支援や入園式への出席等、協力のお申し出をいただいている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			アセスメントにセンター方式を取り入れる為、グループホーム職員全員対象に「センター方式勉強会」を松山市介護保険課担当職員にお願いし、導入に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、市の担当者の方から、センター方式を活用の際のアドバイスをいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			グループ内に専門家を置き、必要な人にはそれらを活用できるよう窓口が設置されている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			サービス向上委員会に身体拘束、虐待防止委員会を設置し、研修会に参加した職員に発表してもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際に説明し、その後の法改正による利用料改正、医療連携体制の実際については詳しく説明し、同意を得ている。利用者の状態変化により契約解除に至る場合はご家族と対応方針を相談している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の要望、意見は管理者や職員が随時聞き取り、出来る限り実現できるように心がけている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は個人写真入りの手紙やグループホーム新聞にて月1回の請求書郵送時に同封し報告している。 (外部評価) 定期的に「GH星岡新聞」をご家族に送付し、事業所の取り組みや利用者の日常の様子、食事の献立、職員の紹介等、写真をふんだんに掲載し、報告されている。ご家族は新聞を楽しみにされており、きちんとファイルしている方もおられる。遠方のご家族には、パソコンのメール等も利用し、近況報告をされる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を作成し、自由に意見を出して頂けるよう設置している。家族会で意見を述べて頂いたり、来所時等にも何でも言って頂ける雰囲気作りに心がけている。 (外部評価) ご家族の要望もあり、人手が手薄になりがちな夕方等の時間帯に、パートの職員を補充された。昨年の9月に第1回目の家族会を開催し、多くのご家族が出席された。		今後、家族会時、家族だけで話し合う時間を設けてほしいとのご意見があり、事業所では次回から実施したいと考えておられる。今後も、ご家族から意見等をいただきやすいよう、工夫を重ねていかれることが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) メイト会を月1回行い、意見を聞くようにしている。また日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ご利用者の退院後の見守り強化が必要な時など柔軟に勤務を調整している。最近では夕方見守り強化が必要となり、勤務調整が行われた。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動がやむを得ない場合は一度に重ならないように配慮し、新しい職員が入る場合もアセスメント早見表を作成し、情報を早く掴み、利用者へのダメージを最小限に抑えられるよう努力している。		
			(外部評価) 法人内での異動の際には、適材適所を心がけておられる。管理者は、職員の相談者として、それぞれが抱える悩みや課題を解決できるよう取り組んでおられる。職員の休憩室が設けられており、活用されている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外の研修には代表職員が参加し、その研修報告は毎月のメイト会で発表してもらい、研修内容を全職員が閲覧できるようにしている。先輩職員が新人職員を指導し、育てるようにしている。		
			(外部評価) 事業所では、外部研修の受講を推進されている。職員は、理念の大切さや災害対策等、外部研修で得た知識や情報を日々の中で活かしておられる。管理者は、ヘルパー2級の講師をされた経験等を活かして、日々のケアの中で職員を導いておられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム協会に加入し、協会主催の研修会に職員が参加したり、社協主催のセンター方式の勉強会に参加し、情報交換したりし、サービスの向上に努めている。		
			(外部評価)		
			近隣のグループホームと互いの行事の際に、利用者も一緒に行き来されている。管理者は、他事業所と入居希望者等、情報交換を図っておられ、他ホームから「ホーム便り」を送っていただくこともある。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者が定期的に業務について職員が困っていることがないか聞いている。また気分転換できる休憩室を確保しており、休憩時間はしっかり休めるよう配慮している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は本人の意向を重視しながら、グループ内で活かせる労働環境作りに努めている。		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人と話をすることを大切にし、悩みや困っていること等を日常的な会話の中で引き出すよう心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用開始前に、家族の苦労や今までのサービスの利用状況など、これまでの経緯についてゆっくり聴くようにしている。また面会時にもご本人の状況を説明しながら、聴くようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、場合によっては地域包括支援センターや他のサービス(ショートステイ、通所介護等)の利用につなげたりしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事業所を見学して頂くことから始め、やむを得ず、すぐの利用になった場合は、ご家族や関係者に来てもらう等して安心感をもってもらうようにしている。一緒にデイサービスに通われていた仲よし同士で入居されている方もある。 (外部評価) 入居前に、ご家族やご本人が見学に来られたり、管理者がご本人を訪問し、お話をされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩であるという思いを職員全員が共有しており、得意分野で力を発揮してもらう場面を作るよう努めている。職員がいたわってもらったり、励ましてもらうこともある。 (外部評価) 職員は、利用者から礼儀作法や、畑仕事等を教えていただくこともある。又、利用者「朝早くにえらいなあ」「2,3日顔見んかったが元気やったん」等とやさしく声をかけてもらうことで、心癒され、励まされることも多い。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や職員の気持ちを伝えることで本人を支える為の協力関係ができるようになってきている。家族の方が面会時に皆さんの前で歌を歌ってくれたり、手品をしてくださったり、ボランティアの方と一緒に移動喫茶のウエイトレスをしてくださったりしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族、本人の思いや状況を見極めながら、外出で家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事に家族を誘い一緒に楽しんで頂いたりしながら、よりよい関係の継続に努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 入院されているご主人のお見舞いや奥様の月命日にお墓参りを続けている方もあり、毎朝、家族や友人に電話を続けている方もあり、馴染みの関係が途切れないう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個別に話を聴いたり、相談に乗ったり、みんなで楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面作りをするなど、利用者同士の関係がうまくいくように、職員が調整役になって支援している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他のグループホームに移られた方も遊びに来て、得意の歌を歌ってくれたり、亡くなった利用者の奥様の介護保険利用の相談に乗ったり、入院された方の介護保険の更新申請を代行させて頂いたりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日々の関わりの中で、思いの把握に努めている。表情からその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。意思疎通困難な方からも笑顔や発語を促せるツールを見つける努力をしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		<p>事業所では、職員と利用者の信頼関係をさらに深め、利用者それぞれの思いを汲み取れるよう努め、さらなる個別支援につなげていきたいと考えておられた。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 本人自身との話や家族、知人等の訪問時、サービス担当者会議の時などに少しずつ把握するように努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 家族や関係者からの「できない」という情報にとらわれず、できること、わかる力を本人の生活から把握するように努めている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15		<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人が自分らしく暮らせるように職員や家族、関係者の気づきや意見を反映しながら本人本位の計画を作成している。</p>		<p>(外部評価) サービス担当者会議に、ご家族も参加し、意見を出していただいている。ご本人の希望や職員の気づき等を採り入れ、介護計画を作成されている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 職員が情報を確認し、家族や本人の要望を取り入れつつ、期間が終了する前に見直し、状態が変化した際には期間終了前であっても検討見直しを行っている。		
			(外部評価) 定期的な見直しと、状態変化に応じた随時の見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別のファイルに職員の気づきや本人の様子、言葉、エピソード等を記録している。いつでも全ての職員が確認できるようにしており、勤務開始前の確認は義務付けている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 医療連携体制を生かして、利用者にとって負担となる受診や入院を最小限に抑えたり、早期退院の支援、医療処置を受けながらの生活継続等、柔軟な支援を行っている。		
			(外部評価) 利用者の姪御さんの結婚式に、職員が付き添われた。ご本人が式に出席できたことをご本人はもちろん、ご家族も喜ばれた。事業所には、普段からご本人の友人の方の来訪もあり、以前からの関係を続けていけるよう支援されている。		今後、事業所では、短期利用型共同生活介護（ショートステイ）を検討されており、体験入居を希望される方等にも利用していただきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を活用し、利用者と地域とのさまざまな接点を見出し、近隣保育園、幼稚園との交流やお花見等行事のボランティアへの協力をお願いしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の状況や希望に応じて、鍼灸、マッサージを受けられたり、また理美容サービスを利用されたりしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加することをきっかけに周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医のほか、入居前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、ご家族と協力し通院介助を行ったり、往診してもらったりしている。  (外部評価) 利用者の事業所での健康状態を記入した連絡ノートで病院と情報を共有されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院の院長は介護老人施設を数箇所経営している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 併設事業所との兼任で看護師を配置しており、常に利用者の健康管理や状態の変化に応じた支援を行えるようにしている。看護師のいない時間は介護職員の記録をもとに確実な連携を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院によるダメージを極力防ぐ為、時々職員が見舞うようにしている。事業所内で対応可能な段階でなるべく早く退院できるようアプローチしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に関する考え方、本人及び家族との話し合いや意思確認の方法等看取りに関する指針を定め、家族、医師、看護師を交えて話し合いながら支援している。 (外部評価) 入居時に、ご本人ご家族に看取りや終末期の事業所の対応について説明し、その後も状況に応じて話し合いをされている。日々の会話の中でご本人の希望を聞き取り、アセスメントシートに記入し、職員間でもご本人の思いを共有されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、医師、看護師、職員が連携を取り、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他事業所へ移られた場合、アセスメント等情報提供し、これまでの暮らしの継続性が損なわれないよう心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) ミーティングの折に日々の関わり方を点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。理念に基づき、利用者を敬う気持ちを忘れないよう心がけている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価) 利用者に合わせて声をかけ、小さいことでも本人が決める場面を作っている。意思表示の難しい方にも、二者択一でもいいので自己決定して頂くよう心がけている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 朝寝坊、散歩、日向ぼっこ、昼寝等一人一人の状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>職員は、食事や食後の口腔ケア等、利用者がそれぞれのペースで行えるよう、声かけや見守り等をされていた。昼食後、ご夫婦が寄り添い、お話しされている様子がうかがえた。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個々の生活習慣に合わせて支援し、また行事等日頃から化粧やおしゃれを楽しんでもらえるよう取り組んでいる。美容院で希望に合わせたカットや毛染めをしてもらえるよう連携をとっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 煮干の頭取り、みそ汁の具材切り、味付け、米とぎ、台拭き等力に応じて、利用者と職員が一緒になって行っている。 (外部評価) 職員は、利用者が食事を食べやすいように、さりげなく切り分ける等、サポートされている様子がうかがえ、今日のメニューのお話をされながら和やかに食事されていた。下膳や台拭きをされている方もおられた。		利用者個々が食事を楽しむための支援について、グループホームの特徴をさらに活かし、おいしい食事を楽しむ工夫を重ねていかれることが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人一人の嗜好物は本人の様子や時間をみながら、それらを楽しめるよう支援している。行事等にはお酒やビールも好きな方には飲んで頂いている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 現在おむつの方はおられず、おむつの方は紙パンツへ、紙パンツの方は布パンツへと支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一応入浴日は決まっているが、一人一人ゆっくりと時間をかけて、歌を歌ったり、ゆず湯を楽しまれたり、好みの湯温でリラックスできるよう支援している。あまり入浴を好まない方には曜日に関係なく入って頂いている。		
			(外部評価) 入浴を嫌がられる方には、無理強いせずタイミングを見計らって声かけされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人一人の習慣や日中の疲れ具合（外出、行事、入浴等）に合わせて、個別にソファやベッドにて休んで頂いている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 日直を決めたり、花の手入れ、めだかの世話、畑の作物の収穫等をして頂いたり、家族とコーヒーを飲みに行ったり、買い物、散歩等一人一人張り合いや喜びのある生活への支援をしている。		
			(外部評価) 事業所の畑で収穫したサツマイモでスイートポテトを手作りされたり、編み物やお花の世話、行事の挨拶等、利用者個々の生活歴を活かした支援に取り組まれている。併設のデイサービスの季節のイベント等にも参加されている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) その人の力に応じてすべて自分で管理されたり、電話代程度持っておられたり、家族の協力を得て少額のお金を持っている方もおられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)  花の水やり、近くの畑の草取り、近くの川へ菜の花を見に等、本人の希望を聞いて、外の空気に触れたり、季節を感じて頂くように心がけている。  (外部評価)  毎月、第三金曜日の買い物の日には、スーパー等に出かけておられる。コスモスや桜等、季節の花巡りもされている。利用者個々の「願いを叶える日」には、それぞれ喫茶店やうどんを食べに出かけることを希望される方もいる。		職員は、「さらに日常的に戸外に出かける機会を増やし、風のささやきや自然の息吹に触れ、もっと利用者のいきいきとした表情に出会いたい」と、話しておられた。日々の中で利用者が外出したくなるような雰囲気作り等の取り組みも期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)  昨年末より「      さんの日」と称して個別に聞き取りをし、家族にも相談し、本人さんと一緒に計画を立て、順次実施している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  お手紙を職員がついて書ける人には書いて頂いたり、毎朝、口腔リハビリを兼ねて家族や友人に電話されている方があったり、大好きな義姉さんに時々電話されている方もある。いつでも電話できるように公衆電話を設置している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)  来客には明るく声かけしたり、お茶を出したり、気軽に来やすい雰囲気作り心がけている。面会時間は定めておらず、いつでも訪ねて頂けるよう配慮している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ミーティング等で日頃のケアを振り返り、自覚していない身体拘束が行われていないか点検している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  外からの入室は自由にでき、入居者が外に出ようとされる場合は、さりげなく声をかけたり、一緒について行く等安全面に配慮している。  (外部評価)  玄関は、外からは自由に入れるようになっているが、内から外出する際には、暗証番号の入力が必要となっている。		今後、利用者の自由な生活の支援について、理念にも立ち返りながら、話し合いの機会を持たれてはどうだろうか。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  職員は入居者と同じ空間で記録等の事務作業をしながら、全員の状況の把握に努めている。夜間は時間毎に巡回しながら、居室が見通せる職員室やその日観察の必要な方の居室近くのソファで見守っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  全てを取り除くのではなく、入居者の状態によっては注意を促したり、ガラス越しに見えるようにしたり、ケースに応じた対応を行っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  日々のヒヤリ・ハットを記録し、全員で閲覧できるようにし、再発防止に努めている。事故が発生した場合には速やかに事故報告書を作成し、原因や今後の予防策を検討し、家族への説明や報告を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 開設当初、全職員対象の応急手当、救急法についての勉強会を実施している。ビデオの貸し出しは随時行っている。夜間緊急時の対応についてマニュアルを作成し、職員会で定期的に話し合っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回、入居者と共に、夜間火災時を想定した訓練を行っている。運営推進会議にて町内会長さんより非常時放送は行って頂けることになっており、日頃移動喫茶に来てくださるボランティアさんにも協力を呼びかけている。 (外部評価) 地域の防災訓練に、職員も参加された。運営推進会議時には、地域の協力をいただけるようお願いをされている。たんすが倒れないようにされたり、ロッカーの上に物を置かない等、地震対策も講じておられた。		事業所では、災害時の避難場所として、事業所を地域の方に提供したいとお考えを持っておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 年1回骨密度検査を行い、結果により必要な場合は資料をもとに家族に説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状況を職員は把握しており、少しでも食欲や顔色、様子の変化が見られた時はバイタルチェックを行い、看護師に報告し、場合によっては医療受診につなげている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬時は個々の力に応じ、きちんと服用できているか確認している。また治療や服薬調整の参考資料となるよう、本人の状態の経過や変化に関する日常の記録を看護師、医師に情報提供している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事やおやつに繊維質の多い食材や乳製品、寒天ゼリーを取り入れたり、散歩や歩行練習等身体を動かすことに努めたり、水分補給に注意したり、自然排便できるように取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの必要性を職員が理解し、力に応じて職員が見守ったり、介助したりして毎食後の歯磨きをして頂いている。就寝前には入れ歯の洗浄を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が栄養バランスに気を配り、毎月BMI値を計算している。ティータイムを設け、水分摂取して頂いており、特に必要な方にはチェック表を記入し、水分確保に気をつけている。 (外部評価) 職員は、利用者一人ひとりの 食べる量の違いを把握されている。ティータイムでは、紅茶、コーヒー、ココア等、お好きなものを好みで飲めるよう用意されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症対応マニュアルを作成し、早期発見、早期対応に努めている。また入居者家族に同意を頂き、入居者、職員共にインフルエンザ予防接種を受けている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具の衛生等は衛生管理日報にてチェックしながら注意を払っている。食材は厨房にて栄養士、調理師が新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 明るい雰囲気のある玄関になるように、お花を生けたり、玄関先にプランターを置いたりして季節感を演出している。玄関のお花は入居者のご家族が毎日生けてくださる。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 雛人形、七夕飾り、クリスマスツリー、ご飯の炊ける匂い、ゆず湯、菖蒲湯など、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。冬は畳スペースにコタツを設置し、ゆったりと過ごして頂いている。 (外部評価) 利用者の希望で居間にこたつを置いておられた。玄関には、ご家族がお花を生けてくださっている。共用空間には利用者の習字や行事の折の写真、職員と利用者で作った鯉のぼり等が貼られていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下にソファを置き、一人で過ごしたり、仲のよい入居者同士でくつろげるスペースを作っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室は全て個室となっており、使い慣れた物、馴染みの物など自由に持ち込み、居心地のよい空間を作ることができる。		
			(外部評価)		
			居室には、テレビや冷蔵庫、テーブル等が置かれ、ご本人の書や思い出の家族写真、高校生が描いてくれた似顔絵、誕生日の寄せ書き等が飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			健康の為、冷暖房に頼り過ぎず、入居者の状態に配慮しつつ、温度調節に心がけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			入居者の状態に合わせて、浴室、トイレ、廊下に手すりを設置したり、浴室にはシャワーチェアや浴槽と同じ高さの檜の台を用意したり、安全確保と自立への配慮をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			非常ベルの「押す」ボタンとライトは混乱を招かないように工夫している。居室の入口には写真や名前を貼ったり、トイレのドアに表示したり、自立して暮らせるよう工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関前のプランターの花の手入れ、水やり、ベランダでの洗濯物干し、ホーム近くの畑での野菜作り等活かしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員はアセスメント、サービス計画に目を通し把握しており、さらに日々のかかわりの中で掴む努力をしている。意思疎通の困難な方もいるが、その人らしく生活できるよう支援している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日曜日は入浴がなく、ゆったりと過ごすことができる。日々のかかわりの中で短時間でもゆったりとかわるよう心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その人に合わせた支援に心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員がその人のことを考え、その人のために思った、その人らしい支援ができていた時は表情が生き生きしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物等で外出される人は決まった人になりがちである。「本人の願いを叶える日」に取り組んでいるので、少しずつでも叶えられるよう努力している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が異変を早期に発見し、看護師にすぐ連絡し、指示してもらえる為、安心して暮らせている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	グループ内にいるんなサービスがあり、臨機応変に柔軟な対応ができる為、安心して暮らせている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来所された時には入居者の近況等を話し、家族さんが相談しやすい状況をつくるように心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	毎日どなたかの家族さんや親戚の方、友人が来られる。移動喫茶で地域のボランティアさんが来られたり、幼稚園や保育園との交流で園児が来苑したり、以前ホームで勤務していた職員が訪ねてくれたりする。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ②	移動喫茶やお花見等の行事に参加して下さるボランティアさんのうち毎回1~2名は新しい方で少しずつ輪が広がっている。また何回も来てくださる方は入居者の名前や対応を覚え、支援してくださっている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① ① ① ①	皆、生き生きと働いている。言うべきことを気兼ねなく言い合える雰囲気作りにさらに努めたい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ②	入居者が毎日楽しく、その人らしく生活できているならば、それはサービスに満足していると言えると思う。軽度の方に関しては、外出等少々不満はあると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ②	おおむね満足していただいていると思っている。不満があれば何でも言い易い環境作りにさらに努めたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- \* 有する機能を活かす支援に力を入れている。(歩行練習、リハビリ体操、口腔体操等)
- \* 健康管理や医療面で医師、看護師との連携を密にし、安心して過ごせるよう配慮している。
- \* 幼稚園、保育園との交流、小、中、高校生の介護体験、実習生を積極的に受け入れている。
- \* 一人一人を束縛せず、自由にして頂いている。
- \* コミュニケーションの場を多く持ち、穏やかな気持ちで過ごせる。